

原市場聖書教会

NO. 829

週 報

年間聖句

20, しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

21, キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

ピリピ3章20～21節



2021. 2. 21

主日礼拝

2021年 2月 21日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：若村めぐみ姉

祈	り		司	会	者
今月の賛美		「御手の中で」	—		同
使徒信条			—		同
主の祈り			—		同
賛美		聖歌254番「たのしき祈りよ」	—		同
献金			—		同
感謝の祈り					若村めぐみ姉
聖書朗読		創世記8章1節～19節	司	会	者
説教		「最後まで神に従ったノア」			若村和仁師
黙祷			—		同
賛美		聖歌528番「いまだ見ぬ地」	—		同
頌栄		聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—		同
祝祷					若村和仁師
後奏			奏	楽	者
報告			司	会	者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「最後まで神に従ったノア」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

創世記8章1節～19節

- 1, 神は、ノアと、彼とともに箱舟の中にいた、すべての獣およびすべての家畜を覚えておられた。神は地の上に風を吹き渡らせた。すると水は引き始めた。
- 2, 大水の源と天の水門が閉ざされ、天からの大雨がとどめられた。
- 3, 水は、しだいに地の上から引いていった。水は百五十日の終わりに減り始めた。
- 4, 箱舟は、第七の月の十七日にアララテの山地にとどまった。
- 5, 一方、水は第十の月まで減り続け、第十の月一日に、山々の頂が現れた。
- 6, 四十日の終わりに、ノアは自分の造った箱舟の窓を開き、
- 7, 鳥を放った。すると鳥は、水が地の上から乾くまで、出たり戻ったりした。
- 8, またノアは、水が地の面から引いたかどうかを見ようと、鳩を彼のもとから放った。
- 9, 鳩は、その足を休める場所を見つけられなかったので、箱舟の彼のもとに帰って来た。水が全地の面にあったからである。彼は手を伸ばして鳩を捕らえ、自分がいる箱舟に入れた。
- 10, それからさらに七日待って、再び鳩を箱舟から放った。
- 11, 鳩は夕方になって、彼のもとに帰って来た。すると見よ、取ったばかりのオリーブの若葉がそのくちばしにあるではないか。それで、ノアは水が地の上から引いたのを知った。
- 12, さらに、もう七日待って、彼は鳩を放った。鳩はもう彼のところに戻って来なかった。
- 13, 六百一年目の第一の月一日に、水は地の上から干上がった。ノアが箱舟の覆いを取り払って眺めると、見よ、地の面は乾いていた。
- 14, 第二の月の二十七日には、地はすっかり乾いた。
- 15, 神はノアに告げられた。
- 16, 「あなたは、妻と、息子たちと、息子たちの妻たちとともに箱舟から出なさい。
- 17, すべての肉なるもののうち、あなたとともにいる生き物すべて、鳥、家畜、地の上を這うすべてのものが、あなたとともに出るようにしなさい。それらが地に群がり、地の上で生み、そして増えるようにしなさい。」
- 18, そこでノアは、息子たち、彼の妻、息子たちの妻たちとともに外に出た。
- 19, すべての獣、すべての這うもの、すべての鳥、すべて地の上を動くものも、種類ごとに箱舟から出て来た。

今月の賛美

13 御手の中で

「主はあなたの道をまっすぐにされる」
(箴言3:6)

Diane Ball 作詞
作曲
関根弘興 訳詞

D Em A7 D

みみ 手手 の な か で

D Em7 G/A A7 D

すす べべ てて はは かか わわ るる さか んん びしゃ にに

D7 C/D D7 Gmaj7 A A6 G/A F#m7

わが ゆく みち を み ちら びわ きし たた まま

Bm7 Em7 A7 G/A A7 D

ええ ああ な た の みみ 手手 の な わ かざ で

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ メモ

報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ★首都圏に発令された緊急事態宣言を受けて、原市場聖書教会での礼拝対応に関して、以下のように運営委員会で決定いたしました。
ご理解とご協力をお願いいたします。
- ★zoom 利用が可能な方は極力オンラインでの参加をお願いいたします。
- ★どうしても zoom を利用できない方のために会堂にて間隔をあけ少人数で礼拝をおさげできるようにいたします。
- ★会堂に入られる際には、マスクの着用、手の消毒をよろしくをお願いいたします。
- ★緊急事態宣言が解除されるまで、zoom 中心での礼拝といたします。
 - 2月以降の平日集会予定
 - ★祈り会、赤毛のアン、こひつじタイムは緊急事態宣言解除されるまでお休みといたします。
 - デプテーションのご案内 本日午後2時～ zoomにて
 - ★教団レベル開拓で山形に遣わされている吉持尽主先生が山形より中継でデプテーションを行ってくださいます。zoomが利用できない方は教会にて中継いたします。

2月の誕生日

5日 本多志依姉 14日 勝山幸子姉 21日 則竹祥子姉 22日 本多節子姉

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

・2月23日～26日（火～金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗聖書教会）

本日午後の予定

☆礼拝後オンライン上と、礼拝堂の方との分かち合い、祈りのひと時を持ちます。
お時間のある方は、礼拝後続けてご参加ください。15分程度で考えています。
☆本日午後2時より原市場聖書教会にて zoom 中継によるデプテーションがあります。

次週礼拝（2月28日〈日〉）

司 会：本多崇兄

聖 書：創世記8章20節～22節

説 教：「箱舟から降り最初にした事」若村和仁師

奏 楽：本多こずえ姉

讃 美：今月の賛美「御手の中で」

聖歌232、聖歌480、聖歌383

受 付：オンライン礼拝の為担当者無し 献金感謝祈祷：勝山幸子姉

先週の名集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
2月14日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	4人	7人	13人	24人
		(礼拝はオンライン参加者15名を含む)			
	夕 礼 拝				お休みいたしました。
2月17日(水)	祈 り 会				お休みでした。

集会案内

2月24日(水) 祈 り 会 緊急事態宣言終了までお休みします。
2月28日(日) ハレルヤキッズ 9:30～10:15
礼 拝 10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

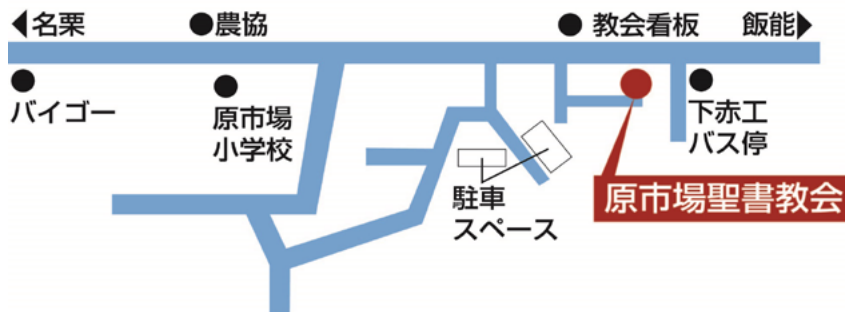
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁